

みんなの図書館

町立図書館 ☎0234-43-3039
分館(狩川公民館内) ☎0234-56-3308



一般向 新刊案内



『銀閣の人』 (門井 慶喜)
銀閣寺東求堂にいまも残る“原点の部屋”「同仁齋」。この四畳半の間に秘められた歴史とは？ 孤獨な将軍足利義政の静かで苛烈な半生に迫る歴史長編小説。(KADOKAWA)

- ・『えにし屋春秋』(あさの あつこ)
- ・『灯台からの響き』(宮本 輝)
- ・『彼女が天使でなくなる日』(寺地 はるな)
- ・『心淋し川』(西條 奈加)
- ・『我々は、みな孤独である』(貴志 祐介)
- ・『推し、燃ゆ』(宇佐見 りん)
- ・『お弁当サンド』(若山 曜子)
- ④『アスク・ミー・ホワイ』(古市 憲寿)
- ④『なぜ、生きているのかと考えるのが今かもしれない』(辻 仁成)

News 図書館からのお知らせ

絵本の読み聞かせ【10/21(水) 10:00～】「おはなしらんどポップコーン」さんによるおはなし会！ 内藤秀因水彩画記念館にて開催。(事前申込み不要)

児童向 新刊案内



『ねこのニャンルー』 (どい かや)
おじいちゃんの青いセーターの毛糸を使い、ニャンルーはおばあちゃんに教わってマフラーを編むことに。手仕事の楽しさや、思い出によってつながる家族の暖かさを描いた絵本。(偕成社)

- ・『あつかったらぬげばいい』(ヨシタケ シンスケ)
- ・『あ』(たにかわ しゅんたろう／ぶん、ひろせ げん／え)
- ・『だれかなあ？』(みやにし たつや)
- ・『ムーミン谷のおはなし』(トーベ・ヤンソン／原作[ほか])
- ・『ゾウとともだちになったきっちゃん』(入江 尚子／文、あべ 弘士／絵)
- ④『ばんそうこうくださいな』(矢野 アケミ)

今月のおすすめ本

『料理レシピ本大賞』受賞作をご紹介！
ご予約もOKです！

『リュウジ式悪魔のレシピ』(リュウジ)



ひと口で「人間をダメにするくらい」おいしいのに短時間で作れて、掲載レシピの半数は低糖質！ ツイッターで人気のレシピの中からおいしいレシピ116品を紹介。(ライツ社)

- ・『藤井弁当 お弁当はワンパターンでいい!』(藤井 恵)
- ・『頑張らない台所』(村上 祥子)

おんないの けじぎだ

文・絵 樋渡 浩さん

農家のだだちやが貧相な大根を指差しながら隣の畑の爺ちゃと話している。

「大分みしょめだ(身を入れてた)つもりだが、ケジギダでえごん(大根)ばかりだ(ばかりだ)」

「今年は雨が降らなかつたか

ら、どごねんなも(どこの家のも)おんなじ(同じ)だよ」

ケジギダ—人によってケツジギダ—はこんな、このようなの意味のおらほのことばだが、「ケジギダ物さ(に)5円も払つたつて。じえんだぐねごと(お金がもつたいないこと)」と

は言つても、「ケジギダうめもの(美味しいもの)初めてくた(食べた)」と言うことはなかつた。

つまり、ケジギダに続くことばは決まってマイナスイメージだったというこで、器物なら粗悪、食べ物なら不味い、仕事ぶりなら下手、量に関わる時は少ないを意味していた。ケジギダバリはこれっぽちちという意味である。

方言には、どんなに想像を膨らませても、どうしてそんな言



い方になったのか解らないものがあるが、私にとつては「こんな↓ケジギダ」もその一つである。